

## 風向き

人の話というものは、よいことよりもよくないことの方が、早く広く伝わるものです。よいことは伝わりにくいものです。ところが、昨年度の後半あたりから風向きが変わってきたように感じます。皆さんのよいところが、次から次へと聞かれるようになってきました。

道端（みちばた）で動けずに困っていたお年寄りをおんぶして自宅まで送り届けた人たちがいました。やろうとしても、なかなかできるものではありません。少なからず勇気も必要です。

学校生活でも、こんなことがありました。給食の準備時間に、1年生が重い食缶を運ぶのに苦労していると、2年生が教室まで運んでくれました。これもそう簡単にできることではありません。まわりの目もあります。やはり勇気のいる行動です。

「〇〇しようかな」「〇〇しなくては」と思う人はたくさんいます。しかし、実際に行動に移せる人は、そう多くはありません。ほとんどの人は、やろうとは思ったのだが、で終わることが多いものです。

この前も、地域の方から、野田中学校の生徒さんが、さわやかに挨拶（あいさつ）をしてくれましたというお話を伺（うかが）いました。毎朝、野田小学校前に立って登校指導をしてくださっている高橋待子さんは、いつも皆さんのことを褒（ほ）めてくださいます。待子さんのお話を伺うと、いつも嬉（うれ）しい気持ちになります。

どうやら風向きが変わってきたようです。もともと皆さんがもち合わせている思いやりの気持ちや人を思う優しさが、行動として現れるようになったのではないのでしょうか。

3月に野田中学校を卒業し、高校生活をスタートさせている先輩方の中には、卒業する際に「思いやりの気持ちを忘れずに、これからもがんばっていきます」といったメッセージを残してくれた人もいました。

思いやりの気持ちは、その人に勇気を与えるのかもしれませんが、勇気が、その人を行動させるのかもしれませんが、思いやりは、相手に必ず伝わります。それは、感謝へとつながります。すなわち、「ありがとう」という言葉になるわけです。この言葉には、力があります。自分のことも相手のことも幸せな気分させるパワーをもっています。

私のところに聞こえてくるのは、ほんの一部だと思っています。実際には、もっともっと皆さんの思いやりに満ちた行動があるのだと思います。これからも、皆さんの思いやりが、自分の行動を促（うなが）し、人のためになることを願っています。